

社会資本総合整備計画書(第5回変更)

ひろさきしちょうよう
弘前市朝陽地区都市再生整備計画

あおもりけん ひろさきし
青森県 弘前市

平成30年12月

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成30年12月25日

計画の名称	1 弘前市朝陽地区都市再生整備計画						重点配分対象の該当										
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）		交付対象	弘前市													
計画の目標	観光館～りんご公園を軸とした観光・交流まちづくりの推進による交流人口の拡大																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 市立観光館の来館者数を540,000人/年（H24）から560,000人/年（H30）に増加。 りんご公園の来園者数を135,535人/年（H24）から210,000人/年（H30）に増加。 りんご公園を活用したイベント（1,000人以上規模のもの）回数を2回/年（H24）から5回/年（H30）に増加。 																
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考										
			当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (－)	最終目標値 (H30末)	・弘前圏域定住自立圏域共生ビジョンに基づき実施される要素事業：無し											
市立観光館を訪れた年間の来館者数を測定します。 来館者の増加（人/年）＝（事業未実施の場合のH25年度推計値）＋（周辺施設との連携強化による波及効果加算値）			540,000人/年	－	560,000人/年												
りんご公園を訪れた年間の来園者数を測定します。 来園者の増加（人/年）＝（事業未実施の場合のH25年度実測値）＋（施設整備による波及効果加算値）			135,535人/年	－	210,000人/年												
りんご公園を活用した1,000人以上規模のイベント回数を測定します。 イベント回数の増加（回/年）＝（事業未実施の場合のH25年度回数）＋（施設整備による波及効果加算回数）			2回/年	－	5回/年												
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,085百万円	A	1,085百万円 (うち提案事業 7百万円)	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.00%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
1-A-1	都市再生	一般	弘前市	直接	弘前市	弘前市朝陽地区都市再生整備計画	公園、地域創造支援事業、まちづくり活動推進事業 206.7ha	弘前市						1,085 (うち提案事業 7百万円)	－	－	別添
合計												1,095					
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
														0			
合計												0					
C 効果促進事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
														0			
合計												0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
														0			
合計												0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

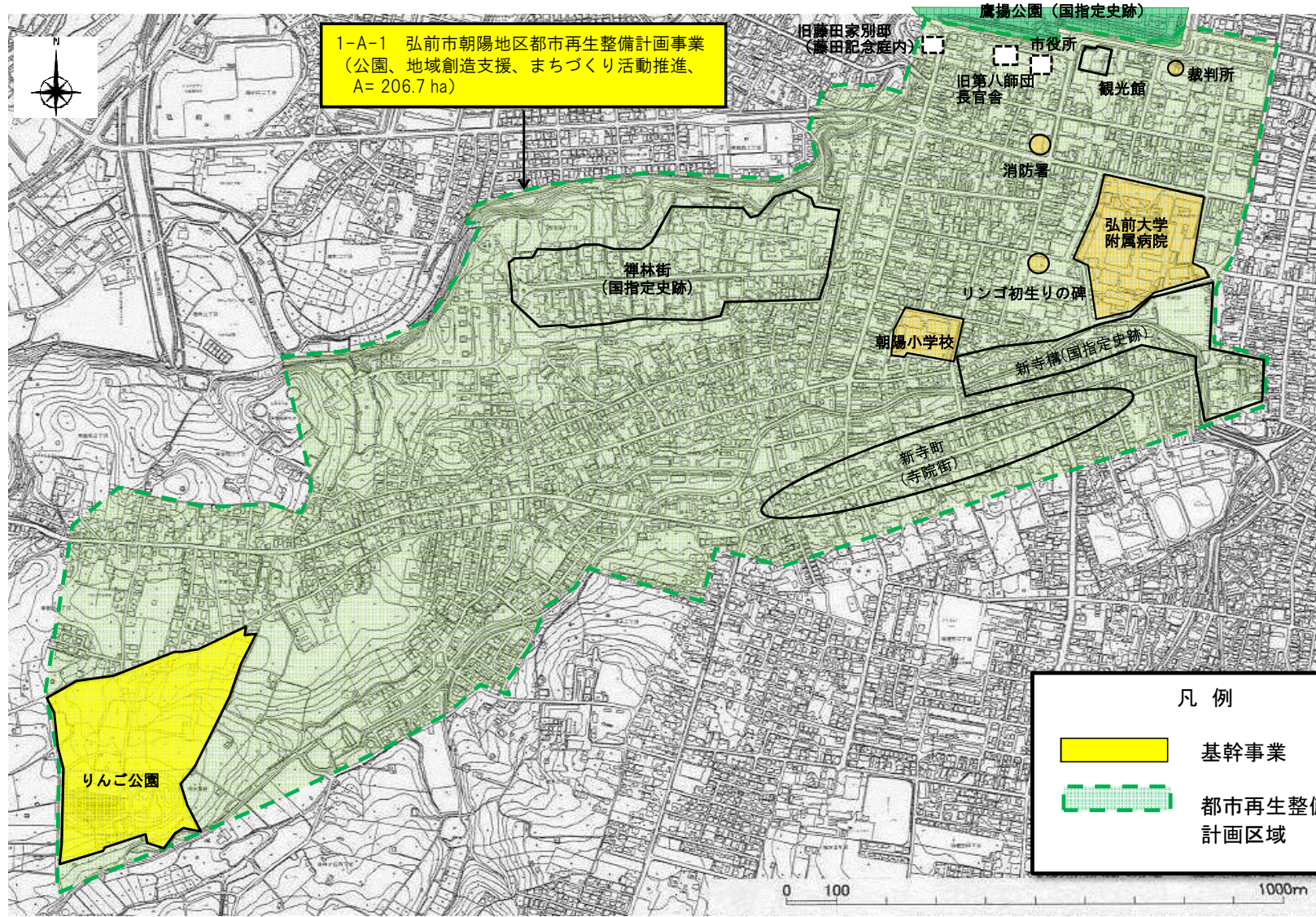
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	10.5	108.1	204.5	104.1	8.8
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 2.0
交付額 (c=a+b)	10.5	108.1	204.5	104.1	6.8
前年度からの繰越額 (d)	0.0	0.0	97.7	182.1	69.0
支払済額 (e)	10.5	10.4	120.1	217.2	75.8
翌年度繰越額 (f)	0.0	97.7	182.1	69.0	0.0
うち未契約繰越額 (g)	0.0	93.1	181.2	69.0	0.0
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	86.1%	60.0%	24.1%	0.0%
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	—	地元からの要望に伴う基本計画の変更(工事着手箇所)に不測の日数を要したため	用地買収の交渉において発生した相続・境界問題により、用地取得が遅延したため	先行した整備工事(園路・駐車場・体験教育園)で想定外に工事用地(資材置き場等)が必要となり、後続工事で使用予定であった用地が確保困難となったことにより、工事発注が遅延したため	—

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

計画の名称	1 弘前市朝陽地区都市再生整備計画	交付対象	弘前市
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）		



都市再生整備計画(第5回変更)

ひろさきしちょうよう
弘前市朝陽地区

あおもりけん ひろさきし
青森県 弘前市

平成30年12月

様式1 目標及び計画期間

都道府県名	青森県	市町村名	ひろさきし 弘前市	地区名	ひろさきし ちょうよう ちく 弘前市朝陽地区	面積	206.7 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度				

目標

- 大目標：観光館～りんご公園を軸とした観光・交流まちづくりの推進による交流人口の拡大
 目標1 りんご公園を活かした景観づくり、交流づくりを行うことにより、地区住民等が安全で憩える場を創出する。
 目標2 観光館を拠点とした各主要施設との連携を強化し、高齢者、障がい者、市民、観光客、誰もが地区内を回遊できる環境を創出する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

「弘前市朝陽」地区は、市の中心市街地西側に接し、そこから南西方面に概ね2kmの範囲にある地区で、古くから形成された市街地とその外側に広がるりんご園によって形成されております。また、当該地区は、当市のシンボルである史跡鷹揚公園の南側からりんご公園へ至るまでの、当市を印象付ける個性的な資源が豊かな地区でもあります。地区の北部は、史跡鷹揚公園南側の外堀に接し、市役所や市立観光館、裁判所などの公共施設が集中するとともに、歴史的建造物や庭園等が存在し、観光・文化の発信や市民と訪れる人々との交流拠点となっております。その南側に広がる市街地の中には、禅林街や新寺町など由緒ある寺院街があるほか、「りんご初生りの碑」など当市のりんご産業発展の原点となる歴史が刻まれており、また栽培の代表的道具であるりんご剪定鋏の製作所（市の「趣のある建物」に指定）や専門店もあり、当市の伝統工芸・津軽手打刃物の技術が根付いた地区でもあります。このような寺院街や記念碑、趣のある建物などは市街地内に散在しているため、個々の情報案内板等については充実しているものの、これらをうまくつないで周遊できるような配慮はなされていない状況にあります。さらにその南西部には、市内でも比較的早い明治期以降に拓かれた広大なりんご園の中にりんご公園があり、主として地区住民の憩いの場として活用されております。公園内には開設当初（昭和40年）からの休憩施設「りんごの家」がありますが、公園付近の（常盤坂地区）住民にとって、地区内唯一の指定避難所である朝陽小学校までは1km以上離れていることから、最寄りの避難所として「りんごの家」の活用を求められているところです。当市のりんご産業の原点がこの地区内にあり、130年以上の栽培の歴史に裏打ちされた、高品質で美味しいりんごが国内外の消費者に届けられていることは、まさに当市の誇りであります。この歴史を後世にきちんと伝え、りんごを通じ、地区住民等が体験・学習・交流をより一層深めるため、地区内の個性的な資源のさらなる磨き上げと拠点施設の機能強化が必要です。

課題

- ・りんご公園は、地区住民の憩いの場としての役割に加え、近年は様々なイベントにより多くの人々が訪れる交流施設としての役割が高まっていること、施設の老朽化等が顕著となっていること等から、りんご公園全体の構成を見直し、地区住民等が安全な環境で憩い、交流できるような施設の整備が必要となっています。
- ・朝陽地区には、禅林街や新寺町の由緒ある寺院街や趣のある建物のほか、当市のりんご産業発展の原点となる歴史が刻まれた記念碑「りんご初生りの碑」、りんご剪定鋏の製作所や専門店など観光資源が多く存在しますが、地区内各所に散在していることから、これらの連携を強化し回遊できるような環境整備が必要となっています。

以上のことから、これほどの個性的な資源が集約され景観も活かせるゾーンを、いかに活かして地区住民にとっての憩いの交流ゾーンとして機能させ、交流人口を拡大させるかが課題となっています。

将来ビジョン(中長期)

- 「弘前市経営計画」（平成26年5月策定済み）
 ・地域の個性を活かした特色のあるまちづくりを基本方針の一つに掲げ、その中で観光の振興を施策として位置づけ、産業、生活文化の資源発掘を主要な計画としています。
 弘前市都市計画マスタープラン（平成27年3月策定済み）
 ・全体構想の一つとして地域の特性を生かした観光交流施設、情報発信機能の拠点施設となる観光施設等の設置を検討することとされています。また、地域別構想として、りんご公園は市民の交流、憩いの場として維持・保全を図ることとされています。

目標を定量化する指標

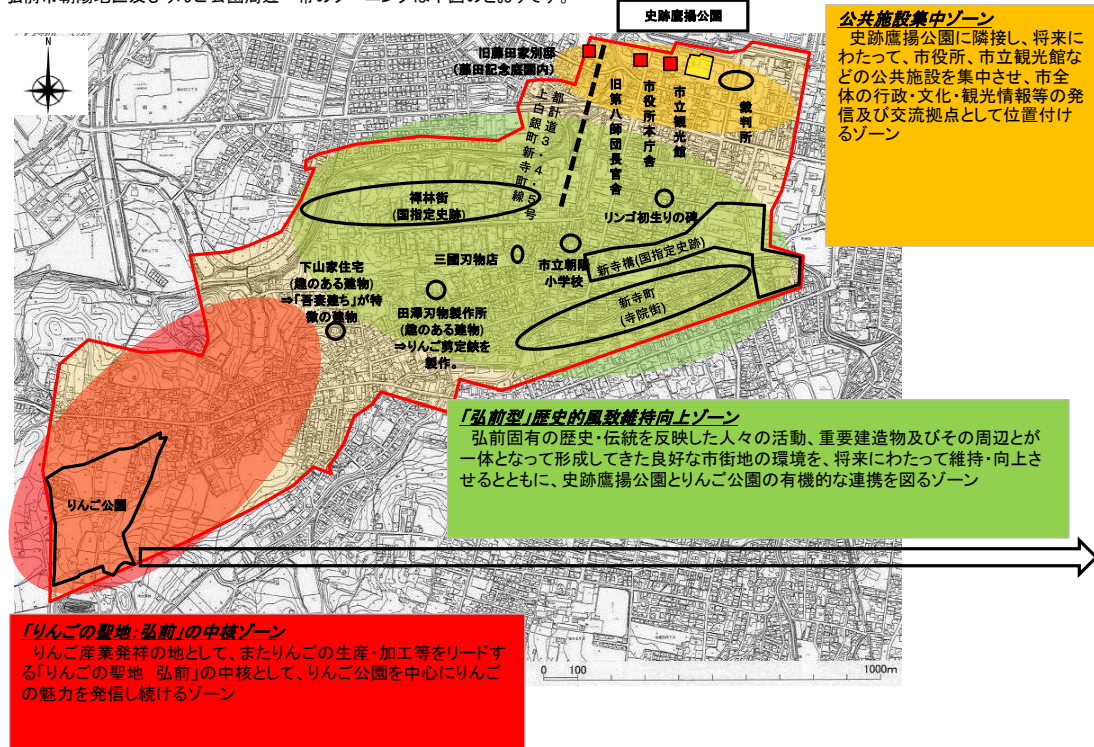
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
市立観光館来館者数	人／年	市立観光館を訪れた年間の来館者数。	観光資源を含む周辺施設との連携強化に伴う回遊性の向上により、来館者数の増加を見込みます。	540,000	24	560,000 30
りんご公園来園者数	人／年	りんご公園を訪れた年間の来園者数。	景観づくりや交流ゾーンとして施設整備・改修に伴い、回遊性が高められることにより、来園者数の増加を見込みます。	135,535	24	210,000 30
りんご公園を活用したイベント回数	回／年	りんご公園を活用した、年間のイベント回数（1,000人以上規模のもの）。	交流づくりとして整備・改修工事と比例するように、イベントの開催機運が高まり、さらなるコミュニケーション・交流人口が拡大することとします。	2	24	5 30

様式2 整備方針等

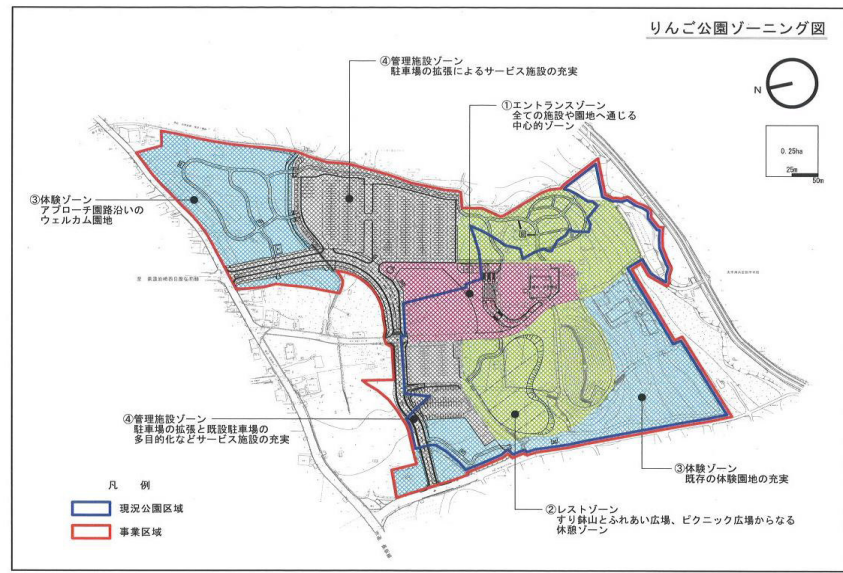
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>①「目標1 りんご公園を活かした景観づくり、交流づくりを行うことにより、地区住民等が安全で憩える場を創出する。」実現のために「りんごの聖地：弘前」の中核ゾーンでは、市の地域資源である「りんご」を更に活用していくため、りんご公園への地域住民等の更なる利用促進を目的に情報発信や案内機能の充実・強化を図る。</p> <p>りんご公園周辺一帯を[エントランスゾーン][レストゾーン][体験ゾーン][管理施設ゾーン]とする4つのゾーニングにし、既存ストックを再生、利活用を図りながら、また、それらの中央に、地区の防災機能を備えた拠点施設を配置し、回遊性を持たせ、憩いのゾーンを創出し、地区住民等の交流拡大を目指す。</p> <p>そして、りんご公園内施設の紹介やりんごの品種の説明をさらに強化することにより、りんご公園に訪れた方の学ぶ機会を創出する。</p> <p>さらに、創出後の魅力あるりんご公園として継続させるため、公園PRパンフレットの作成や、来園者が少ない積雪期の公園利活用促進策として、雪室りんごによる地域振興の可能性について調査する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公園(基幹事業：りんご公園の機能強化) 地域創造支援事業(提案事業：積雪期の利活用促進策調査) まちづくり活動推進事業(提案事業：PRパンフレットの作成)
<p>②「目標2 観光館を拠点とした各主要施設との連携を強化し、高齢者、障がい者、市民、観光客、誰もが区内を回遊できる環境を創出する。」実現のために交通手段となる公共交通機関や既存事業である観光自転車の貸し出し(サイクルネット)のほか、休憩ポイントとなる街角広場や休憩施設などの洗い出しを行い、既存ストックの利活用を図りながら、回遊させるための情報発信及び案内機能の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり活動推進事業(提案事業：朝陽地区内をつなぐ地域資源案内パンフレットの作成)
<p>③「大目標 観光館～りんご公園を軸とした観光・交流まちづくりの推進による交流人口の拡大」実現のために「弘前型」歴史的風致維持向上ゾーンでは、弘前市歴史的風致維持向上計画に基づき、重点区域として位置付けられている地区内各施設の整備及び管理に関する事業を推進し、さらに、史跡鷹揚公園及び観光館等の「公共施設集中ゾーン」と「りんごの聖地：弘前」の中核ゾーンを連携させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり活動推進事業(提案事業：朝陽地区内をつなぐ地域資源案内パンフレットの作成)

その他

- ・第三者組織「ひろさき農商工観光学金連携協議会」、市民意見等を反映させながら、持続したまちづくりを目指します。
- ・弘前市朝陽地区及びりんご公園周辺一帯のゾーニングは下図のとおりです。



－ りんご公園周辺一帯のゾーニング図 －

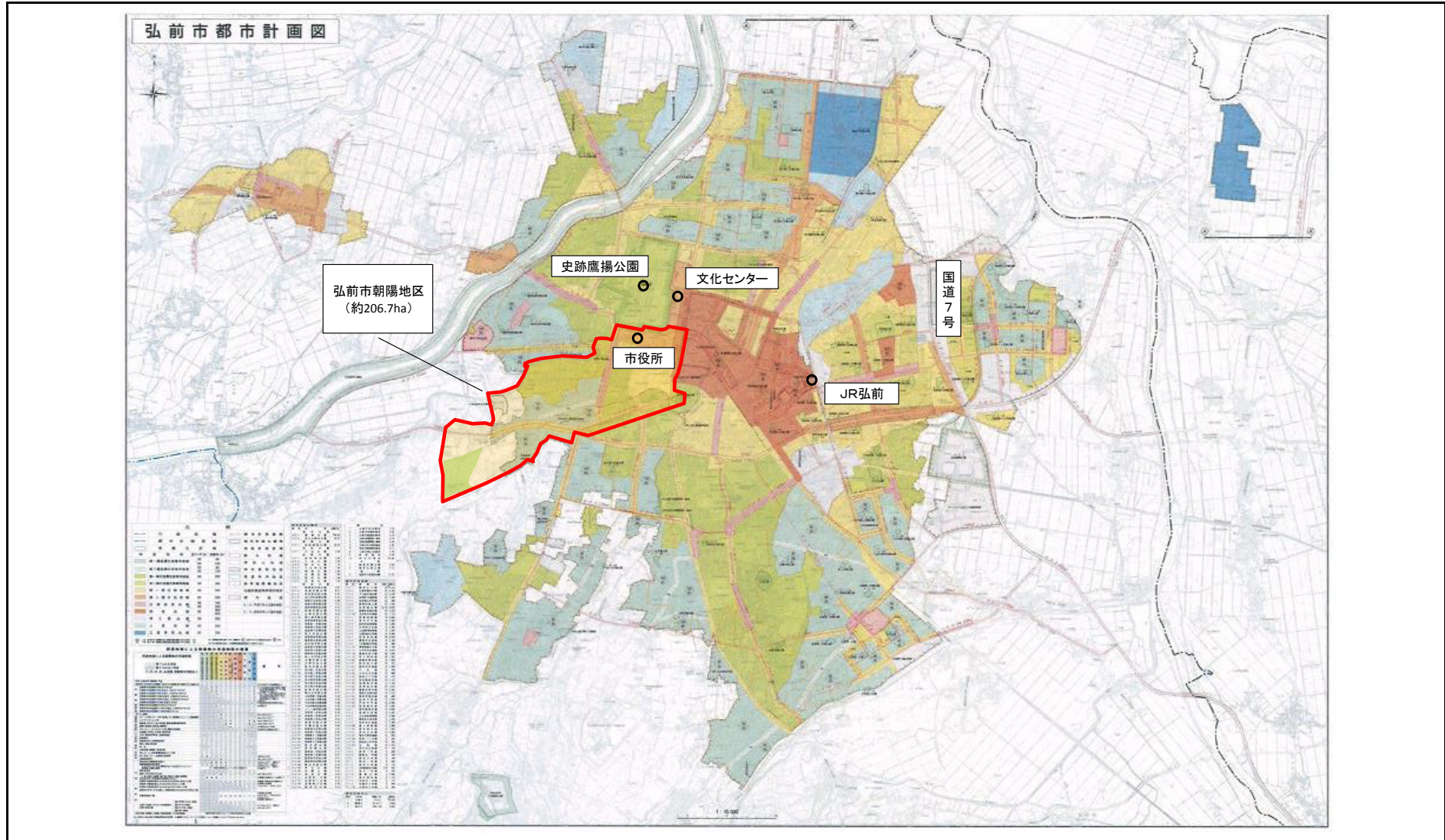


都市再生整備計画の区域

弘前市朝陽地区(青森県弘前市)

面積 206.7 ha

区域 弘前市大字西茂森一・二丁目、上白銀町、塩分町、森町、覚仙町、茂森町、本町、元長町、元大工町、在府町、相良町、北新寺町、南塘町、新寺町、新寺町新割町、茂森新町一～四丁目、清水富田字寺沢、常盤坂一～四丁目の一部



弘前市朝陽地区(青森県弘前市) 整備方針概要図

目標	大目標: 観光館~りんご公園を軸とした観光・交流まちづくりの推進による交流人口の拡大	代表的な指標	市立観光館来館者数 (人/年)	540,000 (24年度) → 560,000 (30年度)
	目標1: りんご公園を活かした景観づくり、交流づくりを行うことにより、地区住民等が安全で憩える場を創出する。		りんご公園来園者数 (人/年)	135,535 (24年度) → 210,000 (30年度)
	目標2: 観光館を拠点とした各主要施設との連携を強化し、高齢者、障がい者、市民、観光客、誰もが地区内を回遊できる環境を創出する。		りんご公園を活用したイベント回数 (回/年)	2 (24年度) → 5 (30年度)

